

「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」  
(2016 年度 第 3 回) を開催しました！

(国土交通省 政策統括官付)

国土交通省では、ユニバーサル社会の構築に向けて、ICT（情報通信技術）を活用したバリアフリーに配慮したナビゲーション等のサービスの普及促進を図るため、「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」（委員長：坂村健 東京大学大学院情報学環教授）を設置し、課題の検討、取組の展開を行っています。

サービス実現に当たっては、歩道上の段差や勾配、幅員等のバリア情報（歩行空間ネットワークデータ）等が必要不可欠ですが、2020 年に向けてデータの整備を加速化させるため、今年度は、データ仕様の簡素化、多様な主体による効率的なデータ整備・更新手法等について検討を行いました。

この度、3 月 1 日（水）に今年度の第 3 回委員会を開催し、これら検討状況等について報告するとともに、次年度の検討課題について審議していただきました。会議資料及び議事概要は近日中に下記 URL に掲載します。

「ICT を活用した歩行者移動支援の普及促進検討委員会」ホームページ  
[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku\\_soukou\\_fr\\_000020.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_fr_000020.html)

今年度検討を行ったデータ仕様（改訂版）<sup>※1</sup>や市区町村担当者向けガイドライン（改訂版）<sup>※2</sup>について 3 月中に公表する予定です。また、検討過程で作成した日産スタジアムや国立代々木競技場周辺エリアで整備した歩行空間ネットワークデータ等についてもオープンデータ化するとともに、データを掲載するオープンデータサイト<sup>※3</sup>も検索機能等を追加してリニューアルする予定です。

来年度は、今年度とりまとめたデータ仕様、ガイドライン、データサイト等のプラットフォームを活用しつつ、2020 年に向けて、さらに取組を加速します。

国土交通省では、これらサービスの全国展開に向けて、引き続き地方公共団体等の様々な主体と連携しながら取り組んでまいります。関心のある方は是非お問い合わせください。

※1 「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案（改訂版）」

※2 「オープンデータを活用した歩行者移動支援の取組に関するガイドライン（改訂版）」

※3 歩行者移動支援サービスに関するデータサイト (<https://www.hokoukukan.go.jp/top.html>)

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 総務課（総合交通体系）（併）政策統括官付

担当 原田・田中

TEL 03-5253-8111（内線 53-102、53-115）

【関連ホームページ】

ICT を活用した歩行者の移動支援の推進

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku\\_soukou\\_mn\\_000002.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_mn_000002.html)



第3回委員会の様子 (2017.3.1)

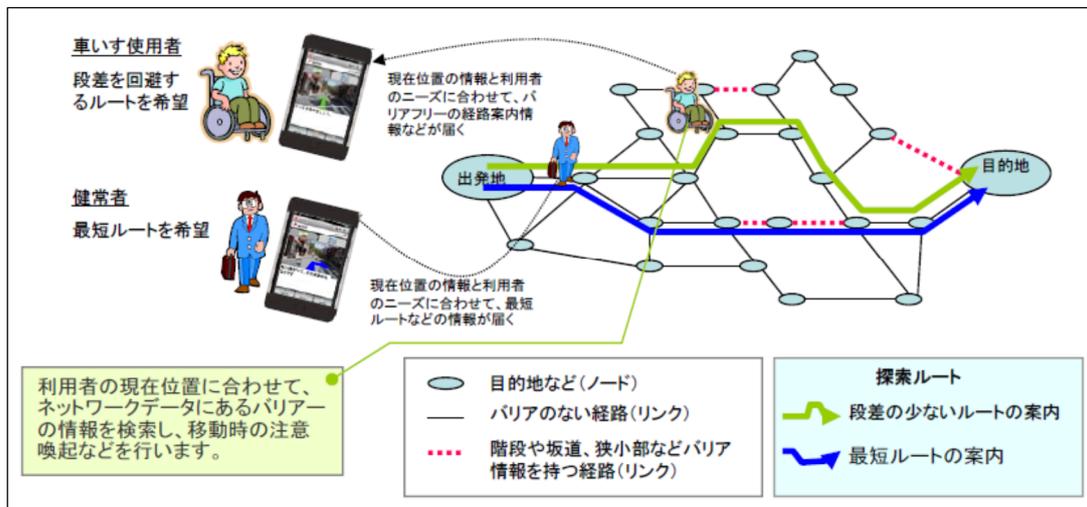


図1 歩行者移動支援サービスのイメージ

- ICTを活用した歩行者移動支援サービスの提供には、「測位技術」「携帯情報端末」「情報データ」の3要素が必要。
- 3要素のうち「情報データ」は、「地図データ」「施設データ」「歩行空間ネットワークデータ」などで構成。

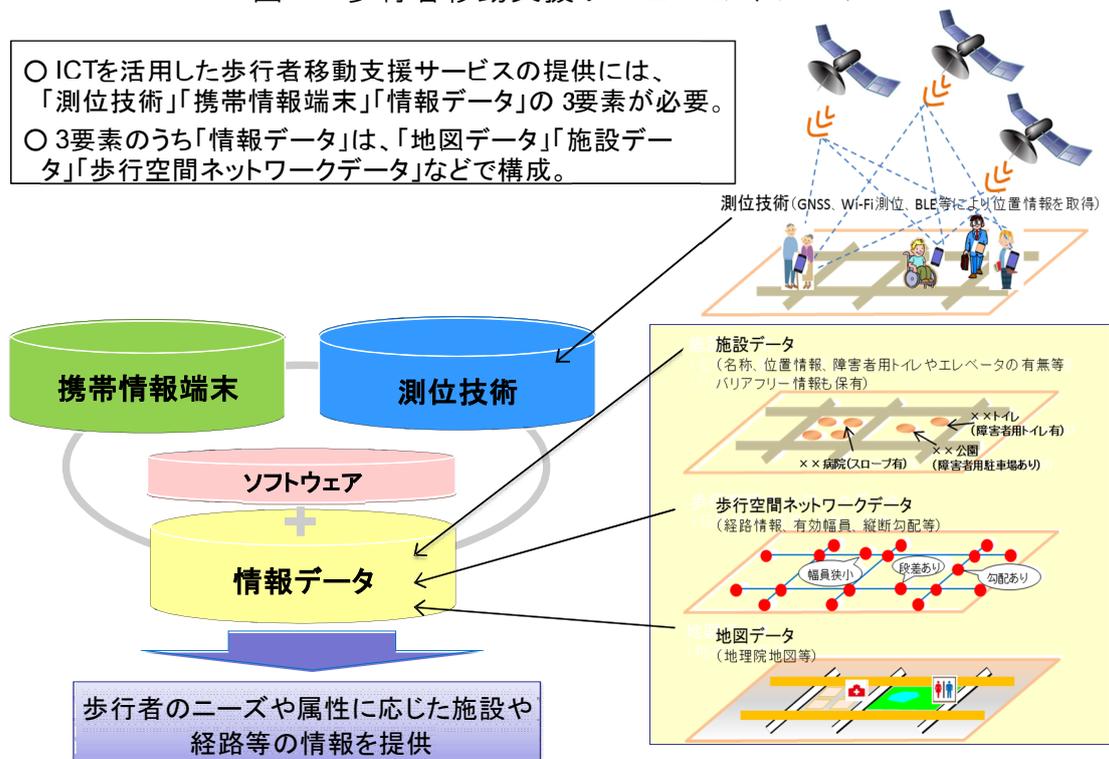


図2 ICT を活用した歩行者移動支援サービスの仕組み